

## (1)医療機能等に係る数値目標

項目	R2 目標	R2 実績	達成率
救急車受入件数(件)	5,000	3,018	60%
がん入院患者数(人)	2,500	2,656	106%
手術室手術件数(件)	3,700	3,576	97%
在宅復帰率(%)	95	98	103%
紹介率(%)	66	64	97%
逆紹介率(%)	110	94	85%
平均在院日数(日)	10.5	10.9	96%

## (2)経営指標に係る目標

項目	R2 目標	R2 実績	達成率
経常収支比率(%)	100	97	97%
医業収支比率(%)	99	88	89%
1日当たり延入院患者数(人)	355	297	84%
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	57,055	59,432	104%

医療機能等に係る数値目標は、がん入院患者数、在宅復帰率以外はすべて目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大による患者の受診控え、救急受入患者の制限等が大きく影響しています。帰国者・接触者外来には約3,000人が受診しましたが、その多くは医療機関からの紹介ではなく、直接来院であったため、紹介、逆紹介率が下がる要因の一つとなっています。

経営指標に関する目標も入院患者1人1日当たり診療収入以外は達成できませんでしたが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大が大きく影響しています。

入院単価については、目標を達成しました。主な理由として2つあり、  
①がん入院患者数が目標を達成していることから分かるように、コロナ禍においても治療を必要とされる医療については継続して提供しており、呼吸器外科、乳腺外科医師の確保によるがん手術増加も単価アップに貢献しています。  
②また、経営改善に取り組む院内プロジェクトにおいて、疾患別の在院日数を適切に見直すことで入院単価が大幅に改善した症例があります。

経常収支比率は、医業収益が減少したものの国県からの新型コロナウイルス感染症関連の補助金が増額となり、前年度よりも改善しました。

今後も、新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、必要とする診療科医師の採用に努めることで、市民に安定的に医療を提供します。病診連携の一層の強化、断らない救急の実践、退院調整強化などに取り組むことで、新規患者を獲得し、医業収益の向上により、経営の安定化を図ります。